

彩龍の川だより

国土交通省関東地方整備局
江戸川河川事務所
首都圏外郭放水路管理支所
電話：048-746-7524
2008年 4月10日 [創刊号]

「彩龍の川だより」創刊のお知らせ★★★★★★

～世界最大級の地下放水路施設の情報をご地域の方にお届けします～



編集長：植松福一

首都圏外郭放水路は春日部市の国道16号の地下約50mに建設された延長6.3kmの地下放水路です。倉松川・大落古利根川・中川など河川の氾濫を防止するため、それらの川から洪水を取り入れる立坑、江戸川まで流すための地下トンネル、そして地下トンネルから水を江戸川へ流す排水機場で構成されています。排水機場には広報施設「龍Q館」が併設され、地域の皆様に施設や効果のことを知って頂けるよう取り組んでいます。今後は、龍Q館とこの広報誌「彩龍の川だより」を通じて、江戸川のこと、外郭放水路のことに、より興味を持って頂ければと思います。よろしくお祈りします。

見学会がまもなく再開されます★★★★★★

～地下神殿の大きさを肌で感じて下さい～

3月27日から一時休止していた見学会を4月15日より再開します。見学会は、龍Q館で施設について説明後、調圧水槽（地下神殿）を見学する約90分のコースです。年間約1万人が参加するこの見学会は、大人の社会科見学の場所としても、各種メディアでも紹介されています。予約は60日前から江戸川河川事務所のホームページで出来ます。まだ見たことのない方は、是非参加してみてください。



見学会の様子

今後の予定★★★★★★

～取材や撮影結果の発売・放送予定もお届けしています～

月日	予定
4月10日	集英社「MEN'S NON-NO」 (撮影場所に調圧水槽が使用されています。)
4月13日	テレビ朝日系列「近未来×予測テレビ ジギル&ハイド」 O.A.予定 (施設が紹介されています。)
4月16日	Merry シングル「閉ざされた楽園」 (CDのジャケットに調圧水槽が使用されています。)
4月23日	管理運転 (見学会はお休みになります)
4月26日	NHK教育「科学大好き土よう塾」 O.A.予定 (施設が紹介されています。)
5月10日	(社)日本建築学会「建築雑誌」発売 (施設が紹介されています。)
6月6日	管理運転 (見学会はお休みになります)
毎週土曜日	テレビ東京系列「レスキューフォース」 (総司令室として排水機場が使用されています。※出ない回もあります。)



撮影状況を見られるかも！

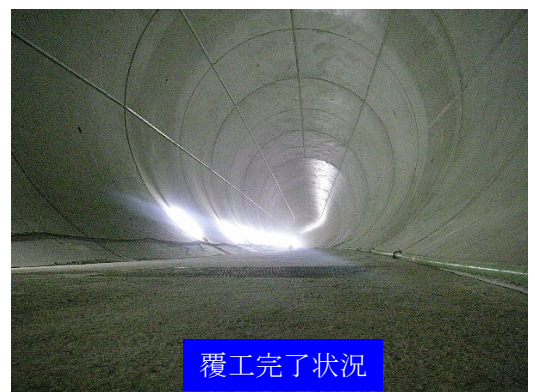
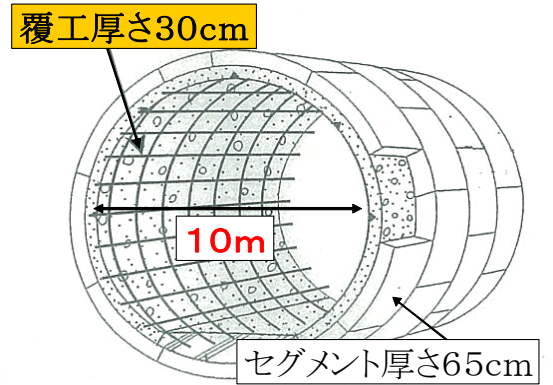
覆工工事が完了しました★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

～今年も例年通り洪水調節をする準備が整いました～

覆工工事は、施設の長期耐久性を図るため、セグメントと呼ばれるコンクリートで出来た「壁」の表面に、厚さ30cmのコンクリートを巻き付けて補強する工事です。

今回完了した第二工区（第二立坑と第三立坑の間のトンネル）の覆工工事は平成19年3月に完成を予定していましたが、工事途中の平成18年12月に、この時期としては異例な大雨があり、工事中にもかかわらず浸水被害防止のため緊急的に施設内に水を取り込みました。そのため、工事の完成は1年先送りとなり、平成20年3月に完成となりました。

本年度も秋から第一工区と第三工区の覆工工事が予定されています。今年も台風シーズンが間もなく来ますが洪水調節には問題無い状態となっています。4月8日の低気圧による豪雨で今年最初の洪水調節を行いました。大雨が降った際には、江戸川河川事務所のホームページで外郭放水路の稼働状況が確認出来ますので、是非ご覧下さい。



覆工完了状況

編集後記★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

地下50mという見えないところで力を発揮している首都圏外郭放水路は、その効果や実績が伝わりづらいため、工事中から見学会やイベント、テレビや雑誌の取材などを利用して、多くの方に知って頂くよう努力してきました。これからも、外郭放水路の事をより深く知って頂きたいと思いこの「彩龍の川だより」を発刊するに至りました。これから隔月10日に発行する予定です。「彩龍の川だより」で知りたいこと・聞きたいことがあれば、国土交通省・江戸川河川事務所のHP等を通じてご意見頂くようお願い致します。龍Q館やこの「彩龍の川だより」が、江戸川や中川のこと、大雨で発生する洪水のことを考えるきっかけになればと思います。

『彩龍の川だより』編集長（植松福一）

放水路調節実績★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

年度	稼働回数	年間洪水調節量 (万m ³)	50mプールで
平成14年度	6	840	5600杯分
平成15年度	5	601	4000杯分
平成16年度	7	1569	10460杯分
平成17年度	7	909	6060杯分
平成18年度	7	2021	13470杯分
平成19年度	6	879	5860杯分
平成20年度	1	78	520杯分
合計	39	6897	45970杯分